



春日山城案内表示
5kmほど先を左とあるが、春日山の
方向の山は雲がかかり見えない。



春日新田宿の旧家



春日新田馬市跡
越後三大馬市の一つ



街道は運動公園の中に消えている



黒井神社



黒井宿跡
宿場の面影はほとんどない



黒井宿本敬寺の芭蕉句碑
芭蕉が奥の細道行脚の折、黒井宿
で宿泊したのを記念し、地元の俳人
たちが碑を建てた。「さびしさや花の
あたりのあすならふ」



新堀川
江戸中期砂丘内陸部の洪水被害防止のため、人口河を作り日本海へ放流した



湊町宿防火地蔵



湊町宿本陣跡



米山道道標



上下浜の町並
しばらくの間商店らしき所は無かったが、この辺りはチラホラ商店もある。



旧街道消滅
上下浜の先で児童公園の中で旧道は消えていた。



柿崎宿手前で旧道は直進してあるが、JR線で分断され通れないので、ここを右折しJR線をくぐり柿崎宿に入る

今日歩いた距離(寄り道・迷い道を含む)約35km

第10日目(5月17日)北国街道(柿崎～柏崎)



柿崎宿元問屋
現在は割烹旅館を営んでいる



柿崎宿親鸞上人旧蹟
柿崎のしぶしぶ宿と言われた扇屋跡に
建つ浄善寺には、川越名号とお枕石が
安置されている



柿崎宿東の枅形道標
左奥州道・右山みちと刻まれている



鉢崎宿に向かう道端にはウツギの花



大清水観音堂参道(遠すぎて諦めた)



鉢崎宿たわら屋跡(芭蕉宿泊跡)



鉢崎番所跡



鉢崎宿(聖が鼻から)



この先旧道は、中越地震で崩れ通れない。
国道の米山トンネルを通る



国道は上の橋で一気に超える
が旧道は坂道を進む



笠島 六宜園
明治天皇ご宿泊所



牛ヶ首 層内褶曲
自然の姿は凄い



青梅川付近も、現在は米山大橋で一気に渡るが、旧道は上流に大きく迂回する(後で分かったが橋の向うに旧道があった。残念)



米山山荘の下りの道標
「右はかみがた道」と刻む



鯨波宿番神御野点公園



鯨波宿番神堂 日蓮が佐渡流罪を解かれ佐渡からの帰途嵐に会いこの下の番神岬に漂着した。日蓮はこれに感謝し八幡大菩薩を中心に29神を勧請して三十番神堂とした。



柏崎宿香積寺



柏崎宿ねまり地蔵

ねまり地蔵は、延命地蔵菩薩、また火除け地蔵でもあり、古くから人々の信仰を集めてきた。



柏崎宿生田万の墓

大塩平八郎の乱に触発され同志達と柏崎陣屋を襲ったが負傷し自刃した。



柏崎宿閻魔堂

閻魔十王を祀り、馬市で賑わっていたが、今日は閻魔市として賑わっている。



悪田の渡し跡

上杉景勝統治の時船渡しであったが、江戸期には下流に端を掛け通行料を取った。記念碑は田中角栄書

ここ悪田の渡し跡から4km近くを、またまた夕闇の中歩き続け、19時20分にやっと今夜の旅館に着いた。

今日歩いた距離(寄り道・迷い道を含む)約36km

第11日目(5月18日)北国街道(柏崎～出雲崎)



旧道は大きく迂回
荒浜で旧道は直進していたが、
原子力発電所により大きく迂回する



青山稲荷
ここも中越地震の影響で、鳥居が
倒壊したままとっている



不動明王は風当て囲いの中



宮川宿の町並



廃校となった高浜小中学校
"ありがとう110年"・・・さみしいですね



椎谷陣屋跡
一万石の江戸常府大名
でここに陣屋を置いた



椎谷の馬市跡
安芸の広島・奥州の白河と共に
日本三大馬市と言われ、多い年
には8000頭もの取引が行われた。



椎谷宿街並



椎谷観音
しいやの観音様と言われ、山の
中腹にあり330段もの石段を上る



椎谷の先も中越地震の影響で通行止
国道のトンネルを行くしかない



杖立観音跡
中越地震で観音堂は倒壊十一面
観音は別院にて保管されている



この辺りにはこのような風当
をした家が多く見られる



石地宿大崎城址
上杉謙信の二十八武将の一人の大崎高
清の居城。春日山城にも居館があっ
た。



石地宿羅石尊
沖合に男根に似た岩が立ってた
が、嵐で船が衝突し折れ、ここ
にご神体として祀っている



石地宿久寛荘
 日本石油初代社長内藤久寛の生家。
 江戸期には全国的に石地の内藤と言われ、大名格の長屋門を持つ。



稲荷神社



尼瀬獄門跡
 出雲崎は幕府直轄地となり代官所が置かれ、その付属機関として牢屋もあり極刑の執行刑場であった。



出雲崎宿
 町並みはここから3.8km程も続く



出雲崎宿の町並
 この付近は近年整備されている



出雲崎妻入り会館
 妻入り家屋の伝統的な間取りを再現し、観光客の休憩や交流の場となっている。



この先に、佐渡からの御金荷や北前船で栄えた出雲崎港がある



芭蕉園
芭蕉が奥の細道行脚の途次出雲崎で一泊した



良寛誕生の地(橘屋跡)
出雲崎の名主の長男としてここで生まれた。正面の良寛堂は母の故郷の佐渡島を背景に、日本海上に浮かぶ浮御堂のようになっている。



この辺りは妻入りの家が続く



出雲崎宿終わりの木戸跡



かすかに霞んで見える佐渡島を見ながら、今回の北国街道の歩きも無事終えることが出来た。

今日歩いた距離(寄り道・迷い道を含む)約25km

善光寺西街道・北国街道を歩いた総距離(寄り道・迷い道を含む)約360km

最後に、道中でお世話になった皆様に感謝・感謝です。ありがとうございました。

(完)

